



<生垣の肥料>

Q. 生垣に肥料をやりたいのですがどうすればよいでしょう。

A. 株もとの両側に溝を掘って有機質の肥料をやります。

<<ポイント>>

溝を掘ると根を切りますが、新しく細根が出て育ちがよくなります。

1. 溝掘り（根切り）

根元から30cmくらい離れたところをスコップで深さ30cmほどに溝を掘りながら根を切ります。この根切りで細かい根が出ると新たに伸びる枝葉も細やかになります。

2. 肥料

分量の高いものは不向きです。有機質の油粕、骨粉を主体にした緩効性のものがよいでしょう。そこで、バーク堆肥のようなものを溝に平均に施した上に、庭木用の肥料（必要な成分が配合されている油粕固形肥料など）を入れ、土を埋め戻します。

3. 剪定

根を切ったときは釣り合いの上からも、枝を切っておくのがよいでしょう。とくに、今までほとんど手入れしていなかったところに、初めて根切りを行なったような場合は思いきって枝を切り詰めておき、新しい根の力で出てくる新しい枝に期待をかけます。ただし、ヒムロヤサワラといった針葉樹では、葉のなくなった部分からは目が出ませんので切りこみはできません。落葉樹と常緑広葉樹に限りますので注意して下さい。剪定バサミやノコギリを使って太い枝もある程度切りこんで生垣を若返らせます。

